

「障がいのある人の人権」

長野県手をつなぐ育成会 事務局長 塚田なおみ

プロフィール

2011年4月から	長野市手をつなぐ育成会	会長職就任	現在に至る
同	長野県手をつなぐ育成会	副会長就任	現在に至る
2015年12月から	長野県手をつなぐ育成会	事務局長 就任	現在に至る

長野市

- ・長野市社会福祉審議会
- ・長野市障がい者スポーツ協会副会長
- ・長野市虐待差別解消連携協議会
- ・長野市心身相談委員協議会副会長
- ・社会福祉法人 長野市社会事業協会評議員

長野県

- ・長野県障がい者施策推進会議
- ・長野県障がい者スポーツ協会評議員
- ・長野県虐待差別解消連携会議
- ・長野県社会福祉協議会理事
- ・長野県障がい者社会参加推進協議会

長野県手をつなぐ育成会とは…

1952年東京都の知的障害児を持つ3人のお母さんによる「この子の幸せ」を願い設立したことがきっかけとなっている。

当時は優性思想下の非人道的な考え方が横行する社会世相にあり、障害児に教育は必要なしと就学猶予され、障害のある子が誕生すると密かに、座敷牢で人様に知れずに育てるといったことに、抵抗のない時代背景があった。

そんな中での勇気ある母たちが立ち上がり、その思いの流れが多くの親、教育者、行政福祉関係者の思いにもつながれ「親の会」が全国的な運動として拡散し、長野県でも56年の活動の歴史を刻んでいる。

育成会活動を展開する中で、母として生活者として学んできたこと。

障がい者差別とは… 資料

意思決定支援とは… 資料

親なきあと相談室… 資料

大切にしていること

快食・快眠・快便

大人の人間の細胞は 60 兆個

日々の代謝は加齢とともに衰えていくけれど、良い食事、良い睡眠、良い排泄は、豊かな人生の第一義